

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	し尿収集車購入事業				
事業の概要	現在、当事業所では6台のし尿収集車を保有しており、年次計画を定め原則として新車購入後6年間使用した後、毎年1台ずつ更新することとしており、当町から排出されるし尿を衛生的に収集・運搬するために必要な、し尿収集車及び流量計の購入事業である。				
	目標時期	平成17年度			
	総事業費	6,142	本年度事業費	6,142	交付金交付額
事業の必要性	宮津湾流域下水道の供用が開始されて11年目を迎え、従来なら浄化槽を除く全戸が汲取式便所であったことから、収集車から発する臭気に対しても「隣近所お互い様」で我慢していたものが、下水道に接続する世帯が増えたことで、市街地を中心に住環境を害するものとして住民の強い不快感となって現れている。また、適正な料金算定についても、それが可能な流量計の登場によって、住民の関心は大きな高まりを見せている。				
事業の有効性	流量計を使用する以前は、下水道が普及する前ということもあり、料金に対する苦情等はあまり見られなかったが、昨今の長引く不況の影響もあり、公共料金に対する住民の関心は非常に高く、この流量計の導入によって機械的に計測することが可能となったことから、適正な料金徴収が行われているとの認識が高まることで、円滑な事業運営に寄与している。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果				
	3 リーディング・モデル成果 地元の竹林保全のため、伐採後有効利用を図る目的で作られた竹炭を利用した「脱臭装置」は住環境の保全のため、また流量計は適正な料金算定のためにそれぞれ導入した結果、それぞれ各地から問い合わせを受けており、先進的な取組と評価されている。				
	4 広域的波及成果 今回更新した収集車には、収集量を重量から換算して流量を測定する自動流量計のほか、竹林保全のため伐採した竹を有効利用する目的から地元産の竹炭を使用した脱臭装置を装備した。これらは住環境を害することなく衛生的に町内のし尿を収集するために必要であって、計画的な収集作業の円滑な運営に資するものである。				
	5 行財政改革に資する成果 流量計を使用する以前は、下水道が普及する前ということもあり、料金に対する苦情等はあまり見られなかったが、昨今の長引く不況の影響もあり、公共料金に対する住民の関心は非常に高く、この流量計の導入によって機械的に計測することが可能となったことから、適正な料金徴収が行われているとの認識が高まることで、円滑な事業運営に寄与している。				
	6 その他の成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。